

大阪府立図書館を民営化しないで！

図書館は民主主義の砦 図書館はだれもが無料で情報・資料を手に行ける生涯学習施設

- 大阪府が進める「市場化テスト」は府立図書館の仕事を民営化していくものです。
「市場化テスト法＝競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」は、官と民の公平な競争を保障しません。
- 大阪府立図書館の民営化に向けた検討が、府民の意見を聞くこともなくどんどん進められています

図書館が民営化されると・・・

予約・延滞・AV 資料・
ベストセラーが有料に

有料化の道を開く
市場化テスト等を生んだイギリスでは、
すでに多くの図書館サービスが有料に

官製ワーキングプアを生む

民間企業が利益を出すのは人件費の
切り詰めしかありません

図書館はもうかる施設
ではありません

情報弱者は守られるか？

障がい者サービスなどが、コストに見合わない
という理由で切り捨てられるかもしれません

利用者の**フライバシー**
は本当に守られるか？

公務員の司書には地方公務員法で定められた
厳格な守秘義務があります

必要な情報が**図書館で**
手に入らなくなる？

公平・中立な視点で本を選ぶのは、
図書館員の大事な仕事です

府内市町村図書館へ届けられる
府立図書館の本が、

無料で届かなくなる？

このような便利だけれど、コストのかかる
サービスは、営利企業はしたくない。
築き上げたネットワークが分断されるかもしれません

府立図書館の資料は、
週1回の協力車であなたの
町へ届けられています

ノウハウが蓄積されず
サービス向上につながらない

大阪府立図書館は 1904 年から府民と図書館員が
努力して育てた、大阪の未来へつなげる財産です

府立図書館は府民から資料を預かり、提供する大阪文化の基盤